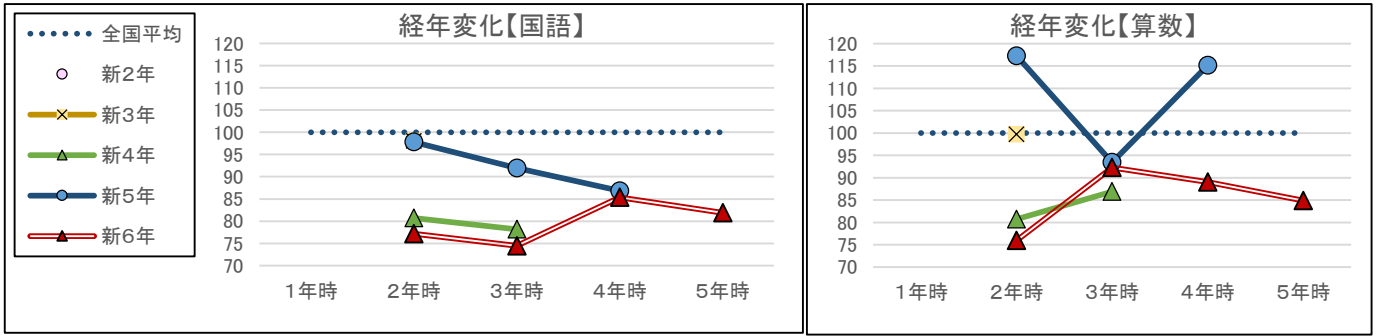


I 前年度の各種調査から見られる学校の状況

※釧路市では、3～6年生を対象に標準学力検査を実施していますが、本校では、独自に2年生においても実施しています。

① 各学年の標準学力検査の経年変化（全国平均を100とする標準スコア）



② 学校の状況

- ・「家庭学習の取り組み」については、低学年は昨年度よりも学習時間が増えている。3年生以上は、少しずつ学習時間が増えているが、学年×10分+10分には届いていない。
 - ・昨年度の標準学力テストの結果から、国語では全学年で「条件を読み取って書く」が課題となり、算数でも、基礎基本を活用し、図や式で説明する力をつけることが課題である。
 - ・生活リズムチェックの結果から、学年が上がるにつれ、スマホやゲームなどを長時間使用している状況が見られる。
- 《6年生 生活行動・学習活動調査から》
- 「学校での出来事を家の人に話している」という回答した児童が全国平均と比べて4Pほど上回っている。
 - △「勉強する時は、集中して勉強している」の項目が全国平均とほぼ同じである。
 - 「自分で時間を決めてテレビを見ている」と答えた割合が全国平均より2.8P低く、割合は1.6%と低い。
 - 「自分で時間を決めて遊んでいる」の項目は、全国平均より3.0%下回っている。

II 今年度の学力向上に係る重点取組

① 学校全体での取組

授業づくり	学習集団づくり	学習習慣・環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・課題設定…児童にとって解決する価値が感じられる課題にする。 ・学習の見通し…課題解決の手がかりを引き出したり、必要に応じて選択させる。学習の見通しは、常に意識できるように板書する。 ・協働、対話…児童同士で話し合うなど、互いの考えを聞き合い、納得解を出すような場面を設定する。 ・ICT…時短、わかりやすさ、個々に応じた指導、集約など、タブレットを効果的に活用する。 ・「ふりかえり」を必ず設ける。 ・児童理解…単元の冒頭レディネステストを実施し、児童個々の学力を把握し、複数の指導者による指導体制に共通理解を図る。また、一斉指導の際の重点を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「釧路市授業スタンダード」が達成できているかを定期的に確認し、学級指導に活用する。 ・朝学習は、主に「知識・技能」を高める時間とする。 ・放課後学習は主に「思考・判断・表現」を高める時間とする。 ・定期的に、各学級の学習の到達度を検証する機会を設ける。 ・毎時間の学習の見通しを児童同士、児童と教員で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に、板書に漢字を使用する。 ・朝学習の効果的な実践と指導情報を交流する。 ・日常の単元テストを分析し、児童一人ひとりが得意なこと、苦手なことを把握できるようにし、個への指導などに生かす。 ・相互理解、児童理解を深めるために、生徒指導を充実させる。 ・家庭学習の目標時間「学年×10+10分」を達成できるようにする。 ・学習への意識が高まるイベントを開催する。

② 各学年の指導の重点

1年生の重点	4年生の重点
<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早めの平仮名・片仮名の定着を図り、自分の考えを文章で表現させる活動を取り入れる。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体物を操作する活動を多く取り入れ、体験を踏まえた数量感覚を養っていく。(10の分解・合成等) 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書く説明する活動」の定着のため、全ての教科において自分の考えを条件に合わせて書く活動を取り入れる。また、文章の読み取りも取り組む。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉での朝学習の基礎基本の定着と個別支援の学習で苦手の克服を目指し、学力の底上げを図る。式を使って説明、書く活動も増やす。
2年生の重点	5年生の重点
<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを書く活動を取り入れ、「音読」の活動を増やし「読む・書く」のつながりを大切にする。また読む事への抵抗を減らし読解力を育む。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉での朝学習の基礎基本の定着と個に応じた指導、繰り返し復習をすることで学習内容の定着を図っていく。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書く説明する活動」に重点を置きながら、情報を整理して理由を条件に合わせて書く活動を日常的に取り組む。文章の読み取りも取り組む。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体での基礎基本の定着を図りながら、個別に課題を抱えている児童への苦手克服を取り組んでいく。式を使って説明、書く活動も増やす。
3年生の重点	6年生の重点
<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書く活動」の定着を深めることに加え、段落や構成が複雑な文章の読み取りの言語活動を意図的に設定していく。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉での朝学習の基礎基本の定着と個別支援の学習で苦手の克服を目指す。式を使って説明、書く活動も増やす。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書く説明する活動」に重点を置き、話の聞き取りから情報を整理して自分の考えを条件に合わせて書く、再現する活動を日常的に取り組んでいく。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の定着を図るために、家庭学習を適切に活用し、学力の底上げを図っていく。式を使って説明、書く活動も増やす。